

2016年1月

プレスリリース

鴨居 玲 死を見つめる男

2016年4月2日（土）～5月29日（日）



鴨居玲《1982年 私》1982年 石川県立美術館蔵

公益財団法人 日動美術財団

笠間日動美術館

茨城県笠間市笠間 978-4

Tel 0296-72-2160 / Fax 0296-72-5655

URL <http://www.nichido-museum.or.jp>

拝啓

寒冷の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご厚誼にあずかり厚く御礼申し上げます。このたび笠間日動美術館では、今もって多くの人を惹きつける鴨居玲の展覧会を開催することになりました。鴨居は金沢に生まれ、パリ、スペイン、神戸などで過ごし、描くすべてが自己投影の自画像と言われたほど、自己を内面から描こうとした画家でした。

つきましては多くの方々にご来館いただきたく、ご取材・ご紹介などのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

■開催趣旨

鴨居玲が没して30年が経ちました。昨年、大規模な回顧展が全国4会場で開催されたことは記憶に新しいところです。そこには20代、30代と思われる若者が多く見受けられました。将来に対する不安が多い現代、若者たちは自己をどう表現するべきか迷っているのかもしれませんが。鴨居は内面に宿る本当の自己をキャンバス上に表現しようとしていました。鴨居の役者のような風貌とはうらはらに、描かれた自画像はまるで死と対峙するかのような面持ちで、苦しく寂しそうに「これが私なのだ」と見る者に訴えかけます。

このたびの展覧会では、鴨居作品を多く所蔵する石川県立美術館の協力をいただき、初期作品から円熟のパリ・スペイン時代、帰国後神戸での裸婦・自画像の時代を通し、アトリエに残された絶筆の自画像まで、油彩・水彩・素描などを含め約100点を展示します。加えて習作のデッサン類、書簡、愛用品など、鴨居を知る上で貴重な資料類を身近で使用していたアンティーク家具とともに「鴨居玲の部屋」で数多く公開し、本質的な自己投影の制作者であった鴨居玲の人物像に迫ります。

■展覧会概要

展覧会名	鴨居 玲 死を見つめる男
会 期	2016年4月2日(土)～5月29日(日)
会 場	笠間日動美術館 企画展示館
開館時間	午前9時30分より午後5時(入館受付は4時30分まで)
休 館 日	毎週月曜日(但し、5月2日は開館)
入 館 料	大人1000円、大学・高校生700円、65歳以上800円、中学・小学生は無料 ・春風萬里荘(北大路魯山人旧居)との共通券:大人1,400円、大学・高校生900円、 65歳以上1,100円、中学・小学生は無料 ・割引:20名以上の団体は200円割引 障害者手帳をお持ちの方、その同伴者1名は半額割引
主 催	公益財団法人 日動美術財団 笠間日動美術館
特別協力	石川県立美術館
後援予定	茨城県／茨城県教育委員会／笠間市／笠間市教育委員会／NHK水戸放送局／ 茨城放送／茨城新聞社／朝日新聞水戸総局／産経新聞水戸支局／東京新聞水戸支局／ 毎日新聞水戸支局／読売新聞水戸支局／東日本旅客鉄道株式会社水戸支社

■会期中のイベント

・夢境庵茶会

日時:4月10日(日) 10:00~16:00

場所:春風萬里莊茶室 夢境庵

席主:原田勝子(表千家)

参加費:500円(抹茶、お菓子)、入館料別途

・ギャラリートーク(各日14:00から30分程度)

4月16日(土)、5月14日(土)

・水彩・パステル基礎講座(各日10:00~15:00)

4月16日(土) スーラに学ぶ「風景画」

5月14日(土) ボテロに学ぶ「静物画」

・一日画家体験「マリー・ローランサン」

日時:5月21日(土) 10:00~15:00

■交通案内

- [JR 利用] ・常磐線友部駅(9:50/10:50/11:50 発)より『かさま観光周遊バス』(100円)
または市内循環バスで約15分。「日動美術館入口」下車徒歩2分
- ・水戸線笠間駅より徒歩約20分(日動美術館・春風萬里莊共、但し方向は逆)
『かさま観光周遊バス』またはレンタサイクルの利用が便利です。
- [自動車利用] ・常磐道友部JCT経由、北関東道友部ICより国道355号線経由約6km
- ・東北道栃木都賀JCT経由、北関東道笠間西ICより国道50号線経由約8km

■お問い合わせ先(担当:亀山/大塚)

茨城県笠間市笠間978-4 電話:0296-72-2160 Fax:0296-72-5655

URL: <http://www.nichido-museum.or.jp> Mail: k-museum@nichido-museum.or.jp

以上